

コメント

1. インフルエンザ

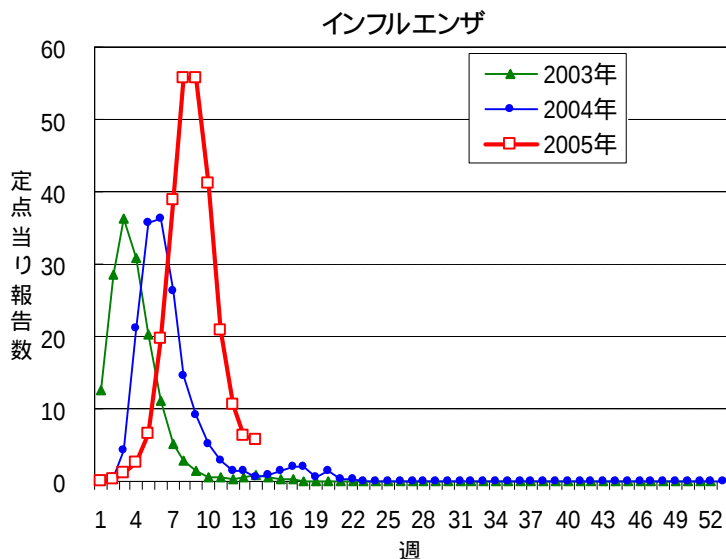
定点当り5.70人と5週続けて減少していますが、減少する割合が鈍っています。この時期としてはかなり報告数が多く、しばらくは注意が必要です。南区10.4人、安芸区10.3人と注意報レベル(定点当り10人)を超えています。

2. 感染性胃腸炎

定点当り8.33人とほぼ横ばいとなっています。安芸区16.0人、佐伯区10.3人となっています。

3. 流行性耳下腺炎

定点当り1.96人とやや減少しています。西区4.0人、中区2.7人、安芸区2.5人となっています。



5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 (注1) 過去5年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 (注1) 過去5年間	発生記号
インフルエンザ(注2)	211	5.70	0.82	↘	麻疹(注3)	-	-	0.06	
咽頭結膜熱	2	0.08	0.16		流行性耳下腺炎	47	1.96	0.97	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	0.83	0.93	→	RSウイルス感染症	-	-	-	
感染性胃腸炎	200	8.33	8.68	→	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
水痘	29	1.21	1.95	→	流行性角結膜炎	2	0.25	0.98	
手足口病	10	0.42	0.15		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	8	0.33	0.34		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.14	
突発性発疹	17	0.71	0.89		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14	
百日咳	2	0.08	0.03		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	-	-	0.04		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	0.06						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1) 過去5年間の同時期平均(定点当り)
(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3) 成人麻疹を除く
(注4) オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
4	A型肝炎	2	6	男性(20歳代)、女性(30歳代)

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

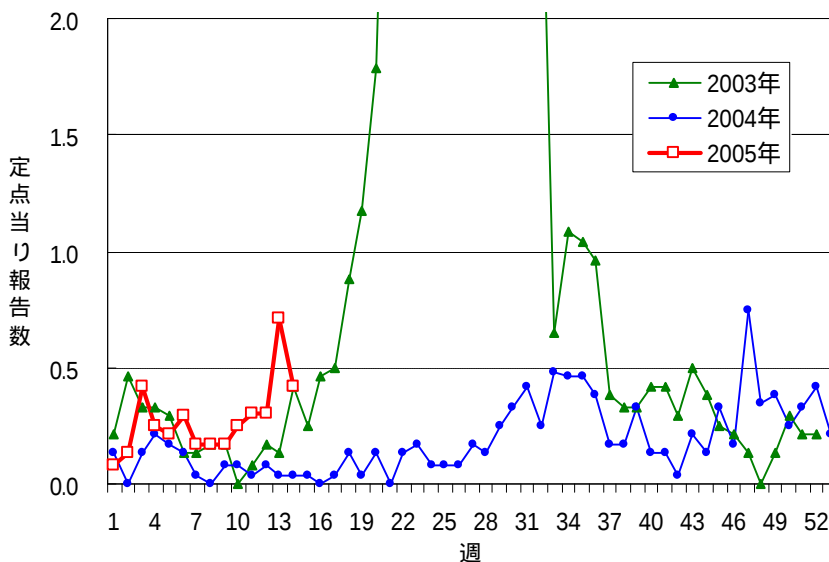
		インフル (注1)	咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻疹 (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
報告数	広島市	第10週	1,524	2	21	257	31	6	4	13	-	1	3	-	1	3	-	3	-	-	-
		第11週	746	2	36	223	32	7	8	10	2	-	-	-	-	6	1	-	1	-	-
		第12週	382	-	21	213	26	7	3	13	2	-	1	-	-	6	-	3	-	-	-
		第13週	232	3	21	201	28	17	6	12	3	-	-	-	-	11	-	-	1	-	-
		第14週	211	2	20	200	29	10	8	17	2	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
定点当り	広島市	第10週	41.19	0.08	0.88	10.71	1.29	0.25	0.17	0.54	-	0.04	0.13	-	0.13	0.38	-	0.43	-	-	-
		第11週	20.72	0.09	1.57	9.70	1.39	0.30	0.35	0.43	0.09	-	-	-	-	0.75	0.14	-	0.14	-	-
		第12週	10.61	-	0.91	9.26	1.13	0.30	0.13	0.57	0.09	-	0.04	-	-	0.75	-	0.43	-	-	-
		第13週	6.27	0.13	0.88	8.38	1.17	0.71	0.25	0.50	0.13	-	-	-	-	1.38	-	-	0.14	-	-
		第14週	5.70	0.08	0.83	8.33	1.21	0.42	0.33	0.71	0.08	-	-	-	-	0.25	-	0.14	-	-	-
全国		第12週	16.78	0.13	1.07	5.32	1.64	0.15	0.18	0.47	0.01	-	0.04	-	0.03	0.60	0.02	0.01	0.18	0.01	-
		第13週	9.99	0.15	1.03	5.33	1.64	0.16	0.21	0.55	0.01	0.01	0.08	-	0.02	0.59	0.01	0.03	0.25	0.01	-

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	9	男	不明	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
川崎病 (MCLS)	0	男	2005/02/28	咽頭拭い液	アデノウイルス1型

【参考】広島市における手足口病の定点当り報告数の推移



手足口病は、コクサッキーウイルスA16型やエンテロウイルス71型などによって引き起こされるウイルス性の疾患で、通常夏に流行します。

広島市における手足口病は、2003年に大流行し、感染症発生動向調査開始以来、最大の報告数を記録しました。

2004年は、ほとんど流行がみられず、年間を通じて1週間の報告数が定点当り1人を超えることはありませんでした。

2005年は、これまでのところ昨年より多く、また、過去5年間の平均よりも高めで推移しており、今後の動向に注意が必要です。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2005年第14週 (4月4日～4月10日)